

平成 31 (2019) 年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」第1条である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律は、幼児期の( A )が生涯にわたる( B )を培う重要なものであること並びに我が国における急速な( C )の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に伴い小学校就学前の子どもの( A )に対する需要が多様なものとなっていることに鑑み、地域における創意工夫を生かしつつ、小学校就学前の子どもに対する( A )並びに保護者に対する( D )の総合的な提供を推進するための措置を講じ、もって地域において子どもが健やかに育成される環境の整備に資することを目的とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	保育	心身の健康	少子化	子育て支援
2	保育	人格形成の基礎	核家族化	保育サービス
3	教育及び保育	心身の健康	核家族化	保育サービス
4	教育及び保育	人格形成の基礎	少子化	子育て支援
5	教育及び保育	心身の健康	少子化	保育サービス

問2 次の【Ⅰ群】の記述と【Ⅱ群】の法令等を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 私たちは、一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努めます。
- B 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。
- C 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- D 児童は、人として尊ばれる。  
児童は、社会の一員として重んぜられる。  
児童は、よい環境のなかで育てられる。

【Ⅱ群】

- ア 保育所保育指針
- イ 全国保育士会倫理綱領
- ウ 児童憲章
- エ 児童福祉法

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | エ | イ | ウ |
| 3 | イ | ア | ウ | エ |
| 4 | イ | エ | ア | ウ |
| 5 | イ | エ | ウ | ア |

問3 次の文は、保護者に対する支援に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法施行規則」第18条の4には、保育士の業務の一つとして児童の保護者に対する保育に関する指導が規定されている。
- B 「保育所保育指針」の第4章「子育て支援」には、保育所を利用している保護者に対する子育て支援とあわせて、地域の保護者等に対する子育て支援についても記載されている。
- C 「子ども・子育て支援法」第10条には「国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」と記されている。
- D 「児童福祉法」第2条第3項には「国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。」と記されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問4 次の文は、保育士に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士は正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。しかし、保育士を退職した後は、その業務に関して知り得た人の秘密を守る義務はない。
- B 保育士となる資格を持った者が保育士になるためには、保育士登録簿に登録を受けなければならない。
- C 保育士は、保育士の信用を傷つけるような行為をしてはならない。
- D 保育士不足解消のため、保育士でない者が、保育士の名称を使用することも認められている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×

問5 次の文は、家庭的保育事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 家庭的保育事業における保育時間は、1日につき8時間を原則とし、乳幼児の保護者の労働時間その他家庭の状況等を考慮して、家庭的保育事業を行う者が定めるものとする。
- B 家庭的保育事業者等は、定期的に外部の者による評価を受けて、それらの結果を公表し、常にその改善を図るよう努めなければならない。
- C 家庭的保育事業では、乳幼児の保育を行う専用の部屋を設けること。
- D 家庭的保育者は、市町村長が行う研修を修了した保育士（国家戦略特別区域限定保育士を含む。）又は保育士と同等以上の知識及び経験を有すると厚生労働大臣が認める者でなくてはならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	×	○

問6 次の文は、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」の3「環境及び衛生管理並びに安全管理」の一部である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態等を踏まえつつ、施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の( A )や( B )を図るとともに、家庭や地域の関係機関の協力の下に安全指導を行うこと。
- ・ 事故防止の取組を行う際には、特に、( C )、プール活動・水遊び中、( D )等の場面では重大事故が発生しやすいことを踏まえ、子どもの主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	専門性の向上	子どもに対する安全教育	睡眠中	園行事
2	専門性の向上	体制づくり	運動中	食事中
3	共通理解	体制づくり	睡眠中	食事中
4	共通理解	子どもに対する安全教育	運動中	園行事
5	共通理解	体制づくり	睡眠中	園行事

問7 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の2(2)「養護に関わるねらい及び内容」のア「生命の保持」の一部である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。
- 2 一人一人の子どもが、発見を楽しんだり、考えたりできるようにする。
- 3 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。
- 4 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。
- 5 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。

問8 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の1「乳児保育に関わるねらい及び内容」の一部である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 心と体の健康は、相互に密接な関連があるものであることを踏まえ、温かい触れ合いの中で、心と体の発達を促すこと。特に、寝返り、お座り、( A )、つかまり立ち、伝い歩きなど、発育に応じて、( B )の中で体を動かす機会を十分に確保し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにすること。
- ・ 保育士等との( C )に支えられて生活を確立していくことが人と関わる基盤となることを考慮して、子どもの多様な感情を受け止め、温かく受容的・( D )に関わり、一人一人に応じた適切な援助を行うようにすること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	はいはい	保育室	協力関係	連続的
2	はいはい	遊び	信頼関係	応答的
3	指さし	遊び	信頼関係	連続的
4	指さし	遊び	協力関係	連続的
5	指さし	保育室	信頼関係	応答的



問9 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」(3)「保育の実施に関わる配慮事項」の一部である。( A ) ～ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ ( A ) が十分できるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びを取り入れること。
- ・ ( B ) が形成され、子どもが自分の感情や気持ちに気付くようになる重要な時期であることに鑑み、( C ) を図りながら、子どもの( D ) を尊重するとともに促していくこと。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	協同活動	仲間	健康の増進	身体表現活動
2	協同活動	自我	情緒の安定	自発的な活動
3	探索活動	仲間	健康の増進	身体表現活動
4	探索活動	自我	健康の増進	自発的な活動
5	探索活動	自我	情緒の安定	自発的な活動

問 10 次の文を「保育所保育指針」第1章「総則」の1「保育所保育に関する基本原則」の子育て支援に関する記述として完成させる場合、( A )～( C )の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所は、入所する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な(A 幼保連携型認定こども園)との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び(B 幼稚園に入園している子どもの保護者)に対する支援等を行う役割を担うものである。
- ・ 一人一人の保護者の状況やその意向を理解、(C 受容)し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮しながら、様々な機会をとらえ、適切に援助すること。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ |

問 11 次のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」の記述の中で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として記されているものの正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 協同性
- B 自己肯定感
- C 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- D 集中力

(組み合わせ)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | C |
| 3 | B | C |
| 4 | B | D |
| 5 | C | D |

問 12 次の文は、フレーベル (Fröbel, F. W.) についての記述である。適切な記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ドイツに人智学的教育理論を基盤にした最初のヴァルドルフ学校を設立した。
- B 「恩物とは、いうまでもなく神からの恩賜物のことである。(中略) その遊具を通して幼児は自然や自然の法則を知り、自然の創造主を予感し、神の働きを知り、やがて自らを知る。だからその遊具は神の働きを知らせ、宇宙の法則を知らせるために神の賜える贈物であるということになる。」とし、幼児教育の教材・遊具を創設した。
- C 「感覚の発育は、高級な知識的活動の発達に先立つ」と述べ、幼年期は感覚教具を与えて訓練する時期であると考えた。
- D 「さあ、わたしたちの子どもらに生きようではないか！」という標語をかかげて幼児教育の実践に取り組み、世界最初の幼稚園 (Kindergarten) を創設した。
- E 「子どもの家」の創始者である。主著に、『幼児の秘密』『子どもの発見』などがある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B D
- 4 C E
- 5 D E

問 13 次の文のうち、倉橋惣三の著作『育ての心』の一部として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもは心もちに生きている。その心もちを汲んでくれる人、その心もちに触れてくれる人だけが、子どもにとって、有り難い人、うれしい人である。
- B 子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。残念なことに、わたしたちの多くは大人になるまえに澄みきった洞察力や、美しいもの、畏敬すべきものへの直観力をにぶらせ、あるときはまったく失ってしまいます。
- C よろこびの人は、子どもらのための小さき太陽である。明るさを頒ち、温かみを伝え、生命を力づけ、生長を育てる。
- D 万物をつくる者の手をはなれるときすべてはよいものであるが、人間の手にうつるとすべてが悪くなる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問 14 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の 1 (2)「保育の目標」の一部である。( A )～( E )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、( A )の基礎を培うこと。
- ・ 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、( B )の芽生えを培うこと。
- ・ 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する( C )や思考力の芽生えを培うこと。
- ・ 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、( D )を養うこと。
- ・ 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、( E )の芽生えを培うこと。

【語群】

ア	心身の健康	イ	読解力	ウ	言葉の豊かさ	エ	社会性
オ	生活習慣	カ	創造性	キ	知識	ク	道徳性
ケ	対応力	コ	豊かな心情				

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | キ | イ | カ |
| 2 | ア | ク | キ | イ | カ |
| 3 | ア | ク | コ | ウ | カ |
| 4 | オ | エ | コ | ウ | ケ |
| 5 | オ | ク | コ | ウ | ケ |

問 15 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

5歳児クラスでは、クラスの子どもたちが様々な色のカラービニールで洋服を作ったり、折り紙や厚紙で髪飾りを作ったりして、それを身にまとい、「ひかりの国の妖精」になり、遊びを楽しんでいる。そのような中、週末に家族で買い物に行き、ブローチを買ってもらった子どもが「妖精のブローチ屋さんをやろう」と提案し、ブローチ屋さんごっこが始まる。保育所では「お店屋さんごっこ」という行事が控えている中、保育士が「お店屋さんごっこで、『妖精のブローチ屋さん』をやったらどう？」と提案すると、子どもたちも張り切って取り組みだす。

「いっぱい作んなきゃ」、「キラキラしているやつね」、「魔法のボタンも付いているの」、「どうやって作るの？」など様々な意見が飛び交うが、中にはそれぞれのイメージが友達同士で伝わらない姿や、自分のイメージするものをどのように作ってよいのかわからずに、悪戦苦闘する姿も見られる。そのような中、「できない！もう嫌だ」と、Jちゃんが他の遊びに抜けてしまう。

【設問】

「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の3「3歳以上児の保育に関するねらい及び内容」に照らして、保育士が行う保育の内容として不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 皆が作っている中、Jちゃんが抜けることは、協力すべき姿に反することであるため、「Jちゃん、皆が作っているのに、一人で抜けるのはよくないよね。決めたことなのだから、みんなで最後までやらなくては駄目でしょう」と言葉がけをする。
- 2 子どもたちがどのようなイメージを持っているのか聞いていき、素材の提案をしたり、様々な素材や、洋服や小物が掲載された雑誌などを子どもが使いやすいように準備したりしておく。また、他の子どもたちから新たな刺激を受けられるような環境の工夫をしていく。
- 3 友達同士でお互いのイメージが言葉で伝わらない時に、状況に応じて、言葉を付け加えたり、思いを尋ねたりすることで、話が伝わり合うようにする。
- 4 子どもたちが素材や道具に関心を持ってじっくりかかわることができるように、スペースを確保したり、物の配置を考えたりする。
- 5 子どもの状況を見ながら、「Jちゃんが、困っているみたいだね」と声をかけ、子どもたちの様子を見ていく。

問 16～問 17 次の【事例】を読んで、問 16～問 17 に答えなさい。

【事例】

保育所に入所してきた3歳のKちゃんは、両親ともに外国籍で、日本語はわからず、Kちゃんも日本語を話すことができない。

入所当初のKちゃんは、泣いてなかなか母親と離れることができず、母親と離れた後も、泣いて過ごすことも多かった。しかし、最近になり、担当保育士と共に過ごすことで、少しずつ、泣くことが少なくなっている。Kちゃんは、まだ、他児とかかわることではなく、不安そうな表情で担当保育士の近くから離れようとしない。

問 16 「保育所保育指針」第1章「総則」及び第2章「保育の内容」に照らし、担当保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A Kちゃんの不安な気持ちを受け止め、共感しながら、Kちゃんが不安そうなときは声をかけたりしていく。また、行動の節目などの際にも、配慮をしていく。
- B Kちゃんの不安な気持ちはわかるが、Kちゃんが早くクラスの子どもたちと遊べるようにするためにも、クラスの子どもたちにKちゃんを遊びに入れるように伝え、担当保育士は離れて見守る。
- C 担当保育士自身が、Kちゃんの国の言葉や、文化を学び、自らの価値観を振り返りながら、国籍や文化の違いを認め、尊重するようにする。
- D 生活や遊びの場面で、日本語の意味や使い方をKちゃんにその都度具体的に分かるように伝えていく。
- E 他の子どもたちにKちゃんの国の文化や言葉などに触れる機会を設けていく。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	○
3	○	○	×	○	×
4	○	×	○	○	○
5	×	○	○	○	×

問 17 「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」及び第 4 章「子育て支援」に照らし、担当保育士の K ちゃんの保護者への対応として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 ゆったりと時間を取りながら、保護者から話を聞く時間を継続的に設け、食習慣や行事をはじめ、子育てに関する不安、疑問などに気づけるように配慮していく。
- 2 K ちゃんの国の食習慣、行事などの文化や言葉などを他の保護者や子どもたちと共有できるような場を設けていく。
- 3 保護者が、保育所における保育の意図を理解できるように、保護者の状況に応じて、保育参観や、個人面談などを計画していく。
- 4 異なる文化であっても、生活をしているのは日本であることから、保育所のやり方に従ってもらう。
- 5 通訳サービスなど活用できる社会的資源を探す。



問 18 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

M保育所に勤めるL保育士は、計画に基づいた保育の実践を通して、保育の内容の評価をした。L保育士は、評価を通して、新たに見えてきた保育の課題を、これからの保育の改善につなげていきたいと考えている。

【設問】

「保育所保育指針」第1章「総則」の3（5）「評価を踏まえた計画の改善」及び第5章「職員の資質向上」に基づいたM保育所の職員の対応として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 保育の課題への的確な対応や、保育士等の専門性の向上を図るために、L保育士は、関係機関等による外部研修へ参加する。
- 2 保育の課題等への共通理解や協働性を高めていくために、M保育所で研修を担当する保育士は、職場内での研修の中で、L保育士の実践を取り上げた。
- 3 組織的に対応する必要がある場合は、保育内容の改善や役割分担の見直しに取り組む。
- 4 M保育所の施設長は、日常の保育に支障を及ぼさないようにしつつ、職員の学ぶ意欲や主体性を高められるようにするため、勤務体制の工夫等を行わず、保育士に対し、勤務時間外に開催される研修に参加するように促した。
- 5 L保育士だけではなく、同じ職場で働く、看護師・調理員・栄養士等においても、それぞれの職務内容に応じた専門性を高めるため、M保育所の職員は、必要な知識及び技術の修得、維持及び向上に努めている。

問 19 次の【Ⅰ群】の国名と、【Ⅱ群】の諸外国の保育に関する記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A アメリカ
- B 韓国
- C ニュージーランド
- D フランス

【Ⅱ群】

- ア 3～5歳（地域によっては2歳から）を対象としたエコール・マテルネル（原語は母親学校を意味する保育学校）がある。
- イ 経済的支援や社会的支援を必要とする家庭の子どもを対象とした保育政策（ヘッドスタート）は、1960年代半ばにスタートした。
- ウ 共通の保育カリキュラムであるテ・ファリキは2017年に改訂された。
- エ 2012年に、幼稚園と子どもの家（保育所）の共通カリキュラム（ヌリ課程）が導入された。

（組み合わせ）

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | ア | ウ | エ |
| 2 | イ | エ | ア | ウ |
| 3 | イ | エ | ウ | ア |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | ウ | エ | イ | ア |

問 20 次の文は、「児童福祉法」に規定される子育て支援事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 市町村は、保護者から求めがあったときは、当該保護者の希望、その児童の養育の状況、当該児童に必要な支援の内容その他の事情を勘案し、当該保護者が最も適切な子育て支援事業の利用ができるよう、相談に応じ、必要な助言を行う。
- B 市町村は、乳児家庭全戸訪問事業又は養育支援訪問事業の実施に当たっては、母子保健法に基づく母子保健に関する事業との連携及び調和の確保に努めなければならない。
- C 子育て支援事業を行う者は、市町村からの情報の収集、あっせん、調整及び要請に対して、協力をしなくてもよい。
- D 市町村は、児童の健全な育成に資するため、地域の実情に応じた放課後児童健全育成事業を行う。
- E 国及び地方公共団体は、子育て支援事業を行う者に対して、情報の提供、相談その他の適当な援助をするように努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	○	○	○